

8月21日（月）経済界との議会広聴会における意見の記録

分 類	経済界からの主な意見
議員定数について	<p>経済的理論からは、人口減少に伴って削減すべきと考える。経済力と人口が少ない市は、なんらかの知恵を出さないと生き残れない。世界中の市を参考に検討してほしい。</p>
	<p>無投票であったため、今回検討を行われるとのことだが、これまで、議員さんから定数の削減を自分から言い出すことはなかった。データをいくら出しても、議員定数を我々が意見を言うのは難しいのではないかと考える。</p>
議員定数と議員活動	<p>H16年1月25日に合併の際のアンケートでは、合併に対して瑞浪市の65%が反対であった。合併は無しになったが、もし合併していたら議員は8人くらいになっていた。区長会の力がつけば議員定数は減ってもよいと考える。報酬が少なくなっても、議員活動ができる議員が選ばれ、切磋琢磨する議会にしなければならない。</p>
議会審議の状況	<p>市長から議案が提案され、政策等について議員と執行部の間でどのような質問応答があるのか。議員間でどれだけ議論があり、賛成反対の討論がどれだけあるのか私はわからない。議員間での議論が議員の仕事であるが、その議員の仕事が一般市民に分かりづらい。</p>
議員の処遇改善	<p>議員報酬が年間いくらか。選挙で出る人がいないのは議員報酬が少ないから魅力がないからではないか。私見だが、定数を半分にして報酬を倍にするとしたらどうか。報酬の増額は議員の資質が問題になるが、それなりの受け皿を作るためには、魅力がないと出る人はいないのではないか。</p>
	<p>報酬については、議員は4年間しか保証がないため、よほど思いがある人、落選しても食べていける人でないと立候補しない。若い人がリスクを負ってでも市議選に出られるよう、報酬をあげて定数を削減するとしたらどうか。</p>
	<p>報酬審議会委員から政務活動費の増額について議会に意見したが、議会側から辞退された。議員の資質向上のために増額があってもいいのではないか。</p>
市の課題	<p>市長へ提出された提言書の説明。「定住人口の増加」「事業拡大・雇用増」「交流人口の増加」を目指して、商工会議所としては事業拡大をまず進めていただき、交流人口の増加も進めていただきたい。人口増加と雇用の創出に力を注いでいただきたい。</p>
	<p>争点となった、総合文化センター、厚生病院の統合の決定について、議会ではその施設の後利用の考えなく決めたのか？これからの文化センターと厚生病院の事を議会の中で議論してほしい。</p>
	<p>「幸せ実感都市」のうたい文句は形だけに感じられる。駅周辺再開発計画の見直しも必要ではないかと考えるため、それを市議会で見直してほしい。駅周辺の保留床を一部買い取って市の施設を作るべきはないか。自主採算性のままでは、駅南開発はサビれるばかりと考えられるため、とても幸せ実感都市とはいえない。</p>
	<p>瑞浪だけの問題ではないが、零細企業が無くなっていく事を危惧している。現在、市内に零細企業は2000に満たない件数だが、倒産もコロナ前より増えている。会議所の定数も減っている。中小企業対策についても市議会でも支援を検討していただきたい。</p>